

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (95 %RH以下)	
	電 力	- W	特性インピーダンス	75 Ω (0 ~ 3 GHz)	
	特 殊 性	-	使用ケーブル	-	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		-	-
電気的 性能	接 触 抵 抗	100 mA(DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 23 mΩ 以下 外部コンタクト 9 mΩ 以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○
	耐 電 圧	AC 250 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比	周波数 0 ~ 3 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	-
	挿 入 損 失	周波数 - ~ - GHzにて測定する。	- dB以下	-	-
機械的 性能	単 体 挿 抜 力	φ 0.88 ⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。(NC側)	挿入力 - N以下 引抜き力 0.2 N以上	-	-
		φ 0.3 ⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。(PL75側)	挿入力 - N以下 引抜き力 0.2 N以上	-	-
			挿入力 - N以下 引抜き力 4.9 N以上	-	-
		総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。(PL75側)		
	繰 り 返 し 動 作	500 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 34 mΩ 以下 外部コンタクト 20 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐 振 性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	-
	ケーブルクランプ部 の 引 張 り 強 度	- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 - N以上	-	-
環境的 性能	温湿度サイクルの 耐 湿 性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ 以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	温 度 サ イ ク ル	温度 -40 → - → +85 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.2 以下	○	-
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承 認	NK. NINOMIYA	20230615
			検 図	NK. NINOMIYA	20230615
			担 当	NK. OOSAWA	20230615
			製 図	NK. OOSAWA	20230615
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図 番	SLC-311035-01-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	NCJ-PL75P (01)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0311-0412-6-01	△ 1/1